

# どんびま

2015年12月15日発行  
発行者 椛の湖農業小学校

## 命を大切にする大人に

「あなたがたは伝説の全日本フォークジャンボリーを成功させた情熱を食農教育に注ぎ込み『耕し人成る』を実践し続けています よってここに・・・」今年2月、椛の湖農業小学校は中日農業賞特別賞をいただいた。あぼ兄をはじめとして、椛の湖に特別な思い入れを持った仲間が集まって始まった椛の湖農小も第22期の卒業式を終えた。

フォークソングと農業小学校とは、一見つながらないように思えるかもしれないが、私たちの活動の中では自然につながっている。フォークジャンボリーの主旨の一つは「田舎から文化の情報発信」だった。以後、フィールドフォークと称してやってきたことは、自分たちの生活や想いを歌う曲作りや、手づくりの物作りで、現在も活動は続いている。

その中で、農家農民の私たちが「農と食」をテーマに、都市と田舎との交流をし、農業への理解を深めてもらい、安心安全な食の為に農のあり方を共に学ぶ場を持ったのは自然の流れだった。それは私たちなりの農と食の情報発信であり、農村の文化を表現することでもあった。ただ、学校を名乗り、先生生徒とは呼んでも、私たちの耕せるのは農場の田畑だけで、子どもたちの心を耕す「たがやしびと」になれるのは子どもさん自身、あるいは親さんであろうと考えてきた。事実、私たちが教えることより、私たちが学ばせてもらうことがたくさんだった。椛の湖農小という場で、多くの人に出会えたことが、かけがえのない財産になった。

親さんからの「ありがとう」と、子どもさんの笑顔が、農小を続けるなによりの力になった。今年は特に、私たちが一番伝えたかった「人は他の命をいただいて生きている」ことを、しっかり感じ取ってもらえた実感がある。

地球規模の異常気象による自然災害、戦闘(空爆)とテロの憎悪の連鎖など不穏な情勢の中で、国内の農業を破たんさせ食糧自給率を下げるであろうTPPの合意、さらには戦後70年の不戦の誓いを破る安保関連法案と日本は何処へ向かって行こうとしているのだろう。たとえ生き難い時代になっても、椛の湖農小の子どもたちは、命を大切にする、環境・平和を守る大人になってほしいと願ってやまない。 (草)



## ～とくちゃんの農小レポート～

# 花の湖農小第22期卒業式

春3月の入学式から22期卒業式までは、あっと云う間の1年間でした。天候の悪い日も有りましたが3分の1近くの生徒が皆勤してくれました。一年で卒業が出来て最も早い時期に卒業出来る学校。目指している農業体験と食育に少しは貢献出来たでしょうか。

**1 午前の授業。** 今年最後の収穫作業は、大根、かぶ、ねぎ、さつまいも、白菜、牛蒡。里芋は猿害に遭って収穫が少なく、いも餅とこくしょに使われました。例によって牛蒡掘りは卒業試験となっており、親子共々協力しての作業となりますが、最後まで他人の手を借りず頑張った生徒もありました。

**2 昼食。** 収穫祭と云う事で盛り沢山の料理が用意されました。五平餅、いも餅、杵つき餅（ぜんざい、きなこ）、から揚げ、おでん、こくしょ、白菜のサラダとおひたし。例によって五平餅は前日に山内家総員で握って頂き、当日は荒城農小のスタッフ達により焼き上げて頂きました。

**3 作品展。** お昼休みには恒例の作品展が開かれ、多数の出展が有りました。特に夏休みの物作り体験でのタイルアートが人目を引いていました。短い時間ながら自分で作った作品を他の人に見て貰うのは、今後の励みになる事でしょう。

**4 卒業式。** 午後から第22期卒業式が、来賓の方をお迎えして行なわれました。

① **校長挨拶。** 1年間無事に過ごせた事への感謝と、文集を読んで感動した事などが話され、来年度への期待のメッセージが寄せられました。

② **卒業証書授与。** 卒業証書は木の板にプリントされており人気を得ています。各グループの先生より、農小で採れたお米7合と文集、荒城農小からのプレゼントの林檎が手渡されました。特別に、6年生には佐々木千里先生から、坂下の民芸品わら馬が贈られました。佐々木千里先生はただ一人の技能保持者です。

③ **表彰。** 各種の表彰が行なわれました。

\* **皆勤賞** 19名で大豆が賞品となりました。9ヶ月間良く頑張りました。

\* **バケツ稲コンクール** 上位入賞12名と参加賞15名で、シクラメンの花が大・中・小の3種類での賞品となりました。

\* **案山子コンクール** 人気投票上位5名と特別賞7名で、生椎茸が賞品でした。

④ **来賓挨拶。** 中津川市坂下総合事務所、吉村所長さんから激励の挨拶がありました。続いて荒城農小からは今年度着任された、広田校長よりお話を頂きました。

⑤生徒代表挨拶。 3Gの藤井祐宇君と4Gの岩田朝陽君の二人が、楽しかった農小での出来事や学んだ事などを、そして感謝の気持ちを夫々話しました。

⑥父兄代表挨拶。 3Gの藤井さんより農小に参加した経緯と、中で体験出来た事の喜びなどを、そして先生・スタッフへの労いと感謝の気持ちを表されました。

⑦農場長1年間のまとめ。 事故が無く無事過ごせたことへの感謝と、出来の悪かった作物に対する反省と、猿害に苦慮した事などが話されました。

⑧校旗降納。 各グループ長により校旗が降ろされ、卒業式は終了しました。

5持ち帰り。 大根5本、かぶ6個、ねぎ（下仁田と長ねぎ）、さつまいも、白菜半分。

今年は大根の葉っぱを捨てて行く人が無かったとか。

刻んで軽く薄塩水でボイルし、油で炒め煮にすると、ご飯が進み過ぎて困ります。また蕪を漬ける時は、必ず葉っぱの茎まで一緒に入れると味が良くなります。

無農薬有機野菜の代表みたいな農小野菜ですから、少し手間を掛けて安心安全野菜を味わってみてください。

来年も又お顔を見るのを楽しみにしております。

## 課外授業(物作り体験教室)

\*12月20日(日) 申込が定員になり、受講者の募集は〆切りしました。

しめ縄づくりと花餅づくりを行ないます。

農小の藁を使ってしめ縄をつくります。

飛騨の郷土民芸「花餅」をつくってみます。

\*1月10日(日) 募集中

凧を作ります。毎年100Mのタコ糸一杯に揚がります。

左義長(どんど焼き)は自分達で作ってから点火します。

\*2月21日(日) 募集中

絞り染めを行ないます。夏の物作りでお馴染みの加藤緑先生の指導で、

Tシャツ1枚(糊を落とした物)を絞り染めします。

中津川の郷土銘菓「からすみ」作りを行ないます。

☆ 場所 下野いきいき会館 (中津川市下野 1423-7・下野庚申堂前)

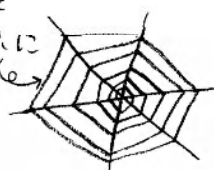
☆ 会費 一人1000円 (昼食代含む)

☆ 申し込みは スタッフ小林 銷男 TEL 0573-72-4835 まで。

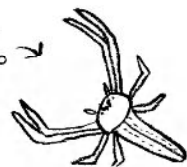
# ～かなちゃんの虫日記～

卒業おめでとうございます。卒業式の日久しぶりに農小へ行きました。久しぶりに会った子がとても大きくなってびっくりしました。子どもの成長って本当に早いですね。晴くん(1オ2カ月の息子)も日々成長しています。最近では床に落ちている紙くずをひらいてゴミ箱へ「バイバイ」と言って捨てていました。毎日大人がゴミを捨てているのを見て自分もやってみたんた?と思いますが、なんで落ちた紙がゴミと判断できたのか不思議です。片付け好きはお父さんに似たんた?と思います。私はというと、天井のすみにはクモの巣がはったまま...掃除が女嫌いなわけではないです! クモがいると家の中のダニや虫を食べてくれるので巣を壊さずにうちに住んでもらっています。でも最近では巣の主たちを見かけることは全くありません...今年の大掃除でそろそろきれいにしようかな。

クモの巣はまるい糸網のものをよく見かけると思っています。横糸にだけ糸が気があります。



糸網をはらないクモもいます。うちではこの仲間をよく見かけます。きれいな黄緑色のワカバグモがよくやっています。昔住んでいた家にはアシダカグモという手の平ぐらいのクモがいました!! 大きすぎてびっくりほんです。ゴキブリも食べてくれる良い生き物ですよ。



1cmぐらい



糸網をはらないクモは目がいいぞうです。なかでもハエトリグモは目が大きくてクリクリとしていてかっこいいです。カメラを向けるとカメラ目線になるぞうです。

ところで、クモは虫ではありません。頭と胸の区別がないし足が8本です。クモは火田や田んぼでも虫を食べてくれる良い生き物ですよ。大事にしましょうね。